

### 3 「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価

「伊達市教育振興基本計画」で掲げた取り組むべき主な施策、推進方策に基づいて実施した事業及び取組について、各主管課及び教育委員会による内部評価を行い、今後の課題と方向を示しました。

#### (1) 学校教育

##### ①社会で生きる実践的な力の育成

取り組むべき主な施策	確かな学力の向上をめざす教育の推進	達成度の評価	B																																								
推進方策	学力向上をめざす教育課程の編成・実施・評価、学習指導の工夫・改善、授業の改善に生かす評価の充実																																										
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査により児童生徒の学力や学習状況を把握しその結果の検証を図る。</li> <li>・一人一人が確かな学力を身に付けることを目的として学習指導の工夫・改善を図る。</li> <li>・児童生徒や保護者による授業評価を実施し、授業の改善と充実を図る。</li> </ul>																																											
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に全国学力・学習状況調査、12月に伊達市学力テストを実施</li> <li>・7月に伊達市教育実践交流・研修会を実施</li> <li>・児童生徒による授業評価と学習指導についての保護者評価を全ての小・中学校で実施</li> </ul>																																											
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力・学習改善プランを全ての学校で策定することにより学習指導の工夫改善が図られ、学力向上に資することができた。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の平均正答率について、小学校では実施した4教科のうち国語A、国語B、算数Bが全国平均以上、算数Aが全国と同程度となっていた。中学校では実施した4教科すべて全国を上回っていた。なお、平成29年度については荒天により、日程を1日延期して実施している。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策 定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>国語の授業がよく解かると答えた児童</td> <td>%</td> <td>75.0</td> <td>74.0</td> <td>79.7</td> <td>78.0</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>算数の授業がよく解かると答えた児童</td> <td>%</td> <td>73.6</td> <td>78.4</td> <td>79.0</td> <td>81.9</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>国語の授業がよく解かると答えた生徒</td> <td>%</td> <td>72.2</td> <td>79.2</td> <td>80.9</td> <td>80.3</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>数学の授業がよく解かると答えた生徒</td> <td>%</td> <td>59.7</td> <td>76.6</td> <td>70.6</td> <td>76.4</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)</p>				成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	小学校	国語の授業がよく解かると答えた児童	%	75.0	74.0	79.7	78.0	95.0	算数の授業がよく解かると答えた児童	%	73.6	78.4	79.0	81.9	85.0	中学校	国語の授業がよく解かると答えた生徒	%	72.2	79.2	80.9	80.3	95.0	数学の授業がよく解かると答えた生徒	%	59.7	76.6	70.6	76.4	80.0
成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値				H30 目標値																																				
			H27	H28	H29																																						
小学校	国語の授業がよく解かると答えた児童	%	75.0	74.0	79.7	78.0	95.0																																				
	算数の授業がよく解かると答えた児童	%	73.6	78.4	79.0	81.9	85.0																																				
中学校	国語の授業がよく解かると答えた生徒	%	72.2	79.2	80.9	80.3	95.0																																				
	数学の授業がよく解かると答えた生徒	%	59.7	76.6	70.6	76.4	80.0																																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査結果および伊達市学力テストの結果を分析することで、学校ごとに学力・学習改善プランを作成し、継続して指導を行う必要がある。</li> <li>・今後も、教職員の授業に対する自己評価と、児童生徒や保護者による授業評価を比較分析することで学習指導の工夫・改善を図る必要がある。</li> <li>・授業評価について、項目の見直しを実態に応じて行う必要がある。</li> </ul>																																											

取り組むべき主な施策	特別支援教育の充実	達成度の評価	A																							
推進方策	一貫した支援をめざした特別支援教育の推進、特別支援教育推進体制の充実																									
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児から中学校卒業まで一貫した支援のため幼稚園・保育所、学校、医療機関、関係する行政機関と連携しながら特別支援教育の推進を図る。</li> <li>・伊達市特別支援教育コーディネーターや伊達市専門家チーム会議の委員の知見を活用し特別支援教育体制の充実を図る。</li> </ul>																										
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある児童生徒の適正な就学措置</li> <li>・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用し、校種間における個別の教育支援計画等の円滑かつ効果的な引継ぎ</li> <li>・障がいのある児童生徒の支援のための体制整備</li> <li>・伊達市特別支援教育コーディネーターによる学校訪問や伊達市専門家チーム会議による専門的助言</li> <li>・各学校に特別支援教育支援員15名・介護員18名を配置</li> </ul>																										
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊達市特別支援教育推進委員会からの答申に基づき、伊達市特別支援教育コーディネーターや伊達市専門家チーム会議を活用することで、適正な措置決定をすることができた。</li> <li>・幼稚園・保育所、学校、医療機関、関係する行政機関と連携することで、教育的ニーズに対応した教育的支援を図ることができた。</li> <li>・必要に応じて、特別支援教育支援員・介護員を配置することで、児童生徒に学習支援や生活支援を行うことができた。</li> </ul>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個別の教育支援計画、指導計画を策定している割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>60.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	個別の教育支援計画、指導計画を策定している割合	小学校	%	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	60.0	100.0	100.0	100.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																			
			H27	H28	H29																					
個別の教育支援計画、指導計画を策定している割合	小学校	%	100.0	100.0	100.0	100.0																				
	中学校	%	60.0	100.0	100.0	100.0																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員及び介護員の配置については、より適正な配置となるよう児童生徒の障がいの程度に応じた適切な支援の在り方を検討していく必要がある。</li> <li>・教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を推進するため、今後とも、関係機関の連携を図る。</li> <li>・伊達市特別支援教育コーディネーターや伊達市専門家チーム会議の委員の知見を活用し、適正な措置決定をすることで、障がいのある児童生徒の自立や社会参加のための支援を継続する。</li> </ul>																										

取り組むべき主な施策	情報教育の充実	達成度の評価	B																														
推進方策	情報教育の充実、情報教育設備の整備																																
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化の進展等に伴い子どもたちが有害情報に適切に対応できる情報活用能力の育成と、発達段階に応じて情報機器を利用する際の情報モラルを身につけさせるための取組を推進する。</li> <li>・教育用コンピュータ等の機器及び教育用ソフトウェアの整備充実を図る。</li> </ul>																																	
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ等の情報通信機器の正しい利用方法についての指導を実施</li> <li>・各種パンフレットや学校便り等を通じて保護者への啓発を実施</li> <li>・北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動を活用</li> </ul>																																	
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に対する情報活用能力の育成や情報モラルの指導、情報機器活用のマナーなどネットトラブルの未然防止に向けた指導をすることができた。</li> <li>・北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動を行うことにより、ネットトラブルの未然防止に向けた指導をすることができた。</li> </ul>																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンピュータ1台当たりの 児童、生徒数</td> <td>小学校</td> <td>人/台</td> <td>12.6</td> <td>11.4</td> <td>11.4</td> <td>11.2</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>人/台</td> <td>8.0</td> <td>6.9</td> <td>6.8</td> <td>9.8</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>								成果指標		単位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	コンピュータ1台当たりの 児童、生徒数	小学校	人/台	12.6	11.4	11.4	11.2	8.0	中学校	人/台	8.0	6.9	6.8	9.8	9.0
成果指標		単位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値																										
				H27	H28	H29																											
コンピュータ1台当たりの 児童、生徒数	小学校	人/台	12.6	11.4	11.4	11.2	8.0																										
	中学校	人/台	8.0	6.9	6.8	9.8	9.0																										
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットトラブルや犯罪が増加しているため、保護者と連携した情報モラル教育を継続して行う。</li> <li>・インターネットを通じて行われる誹謗・中傷等については、北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動を継続することにより、早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・発達段階に応じて情報活用能力を身に付けさせるための学習活動の推進を継続して行う。</li> </ul>																																	

取り組むべき主な施策	環境教育の推進	達成度の評価	A																										
推 進 方 策	環境問題への理解の促進、環境に対し行動する意欲や態度の育成																												
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験や社会体験活動を通じて、環境問題について総合的に考えることができるよう環境教育の取組を促進する。</li> <li>・日常生活のなかで日常的に省エネルギー問題に取り組むことの大切さを理解させるための学習機会を提供する。</li> </ul>																													
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して環境教育に関する学習を実施</li> </ul>																													
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育に関する学習を全ての学校で取り入れており、児童生徒が環境問題について考えることができた。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="240 931 1351 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計 画 策 定 時 (H21)</th> <th colspan="3">実 績 値</th> <th rowspan="2">H30 目 標 値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>70.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>14.3</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	単 位	計 画 策 定 時 (H21)	実 績 値			H30 目 標 値	H27	H28	H29	教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合	小学校	%	70.0	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	14.3	100.0	100.0	100.0	50.0
成果指標	単 位	単 位	計 画 策 定 時 (H21)					実 績 値				H30 目 標 値																	
				H27	H28	H29																							
教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合	小学校	%	70.0	100.0	100.0	100.0	100.0																						
	中学校	%	14.3	100.0	100.0	100.0	50.0																						
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全体を通して計画的に実施していくとともに、コミュニティ・スクール等を活用しながら継続する。</li> </ul>																													

取り組むべき主な施策	キャリア教育の推進	達成度の評価	C																									
推進方策	望ましい勤労観・職業観の育成																											
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の発達段階に応じて、将来の社会的、職業的自立のための、必要な基盤となる能力や態度を育成する。</li> </ul>																												
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての小学校でキャリア教育の全体計画を作成</li> <li>・全ての中学校で教育課程に位置づけ、進路指導の全体計画を作成</li> </ul>																												
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科や総合的な学習の時間において、地域や事業所の見学、家族・身近な人の仕事調べ、職場体験学習を実施した。</li> </ul>																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策 定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童、生徒</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>89.6</td> <td>83.6</td> <td>79.4</td> <td>89.2</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>70.0</td> <td>66.2</td> <td>63.1</td> <td>65.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙）</p>				成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童、生徒	小学校	%	89.6	83.6	79.4	89.2	95.0	中学校	%	70.0	66.2	63.1	65.0	80.0
成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値				H30 目標値																					
			H27	H28	H29																							
「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童、生徒	小学校	%	89.6	83.6	79.4	89.2	95.0																					
	中学校	%	70.0	66.2	63.1	65.0	80.0																					
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校においては、地域の見学や家族・身近な人の仕事調べ等、発達段階に応じたキャリア教育を継続する。</li> <li>・中学校においては、小学校におけるキャリア教育の課題を踏まえ、教職員間で共通理解を図り、キャリア教育を継続する。</li> <li>・全ての学校が「伊達地区学校ネットワーク会議」に参加し、キャリア教育の情報収集や意見交換を行う。</li> <li>・中学校における職業見学や職業体験学習の充実を図り、進路に向けて意識の向上を図る。</li> <li>・小、中学校間のスムーズな接続を図る取り組みを充実する。</li> <li>・小学校の特別活動において、新学習指導要領に対応したキャリア教育計画の整備を進める。</li> </ul>																												

取り組むべき主な施策	国際理解教育の充実	達成度の評価	B																							
推進方策	外国語教育の充実、国際理解教育の充実																									
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>小学校では、学習指導要領に外国語活動が導入されたことを踏まえ、児童の興味・関心を高める指導方法の充実に取り組む。また、中学校では、外国語を通じてコミュニケーション能力の育成に取り組む。</p> <p>国際社会において主体的に行動できる能力を育成するため、姉妹都市との交流を通じて、異なる文化や習慣をもつ人々と協調して生きていく態度を培う。</p>																										
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A L Tの学校派遣 小学校 239回、中学校 209回、その他 126回</li> <li>・ レイクカウチンとの交流事業 実績なし</li> </ul>																										
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>A L Tの派遣については、ほぼ例年通り小中学校に派遣しており、外国語教育の活動において重要な役割を担っている。また、放課後児童クラブや保育所への派遣も増加傾向にあり、国際理解教育の充実が広がりつつある。</p> <table border="1" data-bbox="231 1032 1362 1285"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">英語の授業における英語指導助手の派遣回数</td> <td>小学校</td> <td>103回</td> <td>264回</td> <td>240回</td> <td>239回</td> <td>300回</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>293回</td> <td>261回</td> <td>216回</td> <td>209回</td> <td>200回</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標		計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	英語の授業における英語指導助手の派遣回数	小学校	103回	264回	240回	239回	300回	中学校	293回	261回	216回	209回	200回
成果指標		計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																			
			H27	H28	H29																					
英語の授業における英語指導助手の派遣回数	小学校	103回	264回	240回	239回	300回																				
	中学校	293回	261回	216回	209回	200回																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A L Tの小学校派遣については、児童の外国語でのコミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育成するために、学級担任と連携しながら指導内容及び指導方法の充実を図っていく。</li> <li>・ 中学校においては、自分や他者の考えや気持ちなどを英語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業を展開できるよう、授業内容の工夫・改善を図っていく必要がある。</li> <li>・ 引き続き A L Tの空き時間を利用し、放課後児童クラブ等への派遣継続に取り組む。</li> <li>・ レイクカウチンとの交流事業については、交流活動を通じ積極的なコミュニケーション能力の向上を図りながら、互いの文化や習慣など理解し合えるよう引き続き取り組む必要がある。</li> </ul>																										

取り組むべき主な施策	社会の変化に応じた高等学校教育の推進	達成度の評価	C															
推 進 方 策	高等学校の在り方の検討																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊達市の特色に応じた新しいタイプの学校の設置や特色ある教育課程の編成に向けて、北海道教育委員会に対して要望活動を行う。</li> </ul>																		
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内高等学校 への進学率</td> <td>54.4%</td> <td>52.3%</td> <td>53.4%</td> <td>49.0%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	市内高等学校 への進学率	54.4%	52.3%	53.4%	49.0%	60.0%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
市内高等学校 への進学率	54.4%	52.3%	53.4%	49.0%	60.0%													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道教育委員会が決定する「公立学校配置計画」に対しての継続的な要望活動には限界があることから、今後も公立高等学校配置計画地域別検討協議会において意見交換や情報収集に努める。</li> <li>今後の急激な人口減少と少子高齢社会を迎えることから、市内高等学校の在り方について検討委員会を設置し意見を整理する。</li> <li>道立高等学校長と市立学校長がそれぞれの課題について、意見交換や情報交換を行う。</li> </ul>																		

②豊かな心と健やかな体の育成

取り組むべき主な施策	幼稚園教育の充実	達成度の評価	—
推 進 方 策	保護者負担の軽減		
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園に通園する保護者の負担軽減を図り、幼児教育の振興に寄与するため、就園奨励費の補助を実施する。</li> </ul>			
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から子育て支援課へ事業は移行し、市長部局において引き続き、各家庭の所得状況に対し経済的負担軽減を図るよう適切な交付を行う。</li> </ul>			



取り組むべき主な施策	豊かな心を育む教育の推進	達成度の評価	A																									
推進方策	道徳教育の充実、読書活動の推進																											
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域との連携を図り、地域の人材や本市が有する自然や歴史的風土等の多様な教育資源を活用して道徳教育の充実を図る。</li> <li>・想像力や考える習慣を身に付け、豊かな感性、情操、思いやりの心を育む上で重要な読書活動を推進する。</li> </ul>																												
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育全体計画を全ての学校で見直し、学年単位の道徳の年間指導計画を全ての学校で作成</li> <li>・「朝の読書」等の読書活動を全ての学校で実施。</li> </ul>																												
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳の時間」の授業改善に向けた校内研修を全ての学校で実施した。</li> <li>・「道徳の時間」の授業公開を小学校8校、中学校2校で実施した。</li> </ul>																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策 定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人が困っている時は進んで助け ていると答えた児童、生徒</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>75.0</td> <td>90.3</td> <td>84.1</td> <td>85.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>71.6</td> <td>94.8</td> <td>76.6</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)</p>				成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	人が困っている時は進んで助け ていると答えた児童、生徒	小学校	%	75.0	90.3	84.1	85.0	80.0	中学校	%	71.6	94.8	76.6	80.0	80.0
成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値				H30 目標値																					
			H27	H28	H29																							
人が困っている時は進んで助け ていると答えた児童、生徒	小学校	%	75.0	90.3	84.1	85.0	80.0																					
	中学校	%	71.6	94.8	76.6	80.0	80.0																					
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の教科化に向け、道徳教育推進教師を中心とした計画的な研修の推進が必要である。</li> <li>・全ての学校において、教科書をもとにした年間指導計画を整備する。</li> </ul>																												

取り組むべき主な施策	健やかな体を育てる教育の推進	達成度の評価	C																									
推 進 方 策	体育学習の充実、運動部活動、スポーツ少年団活動の充実																											
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの体力・運動能力調査結果を客観的に把握し、体育の授業を中心とした学校教育活動を通じて児童生徒の体力・運動能力を伸ばす。</li> <li>・中学校における運動部活動の円滑な実施と学校の枠を超えて行うスポーツ少年団活動の育成を図る。</li> </ul>																												
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月までに小学校5年、中学校2年を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施。</li> <li>・小学校1年から中学校2年までの全学年で体力テストを実施し、全ての学校において児童生徒の実態に応じた「体力向上プラン」を作成し、体力・運動能力の向上に向けた指導を実施。</li> </ul>																												
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、小学校5年生では全8項目中、男子で5項目、女子で4項目、中学校2年生では全8項目中、男子で6項目、女子は2項目で全国平均を上回った。</li> </ul>																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策 定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スポーツをすることが好きと答えた児童、生徒数</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>76.4</td> <td>89.7</td> <td>90.7</td> <td>93.5</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>84.6</td> <td>83.8</td> <td>84.8</td> <td>81.1</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(全国運動能力・運動習慣等調査 児童・生徒質問紙)</p>				成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	スポーツをすることが好きと答えた児童、生徒数	小学校	%	76.4	89.7	90.7	93.5	95.0	中学校	%	84.6	83.8	84.8	81.1	95.0
成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値				H30 目標値																					
			H27	H28	H29																							
スポーツをすることが好きと答えた児童、生徒数	小学校	%	76.4	89.7	90.7	93.5	95.0																					
	中学校	%	84.6	83.8	84.8	81.1	95.0																					
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、全ての学校において、児童生徒の実態に応じた「体力向上プラン」を作成し、指導を実施する。</li> <li>・次期学習指導要領改訂の内容をふまえ、心身の健康、保持増進や豊かなスポーツライフの実現に向けた指導の在り方について研修を深める。</li> </ul>																												

取り組むべき主な施策	体験的な学習・活動の充実		達成度の評価	B			
推進方策	体験的学習の充実						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が本物に触れることができる体験的な学習を充実させ、学校の教育活動全体を通して取組む。</li> </ul>							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別活動や総合的な学習の時間等において、体験活動を重視した授業を全ての学校で行い、自然、勤労生産、社会奉仕にかかわる体験活動を実施</li> </ul>							
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の視点を取り入れた職業や就業にかかわる体験的学習を実施することができた。</li> </ul>							
成果指標		単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値
総合的な学習の時間において地域の 人材や自然環境など教育資源を 活かした授業	小学校	%	21.4	36.4	36.4	38.5	40.0
	中学校	%	14.7	25.3	27.5	29.7	30.0
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育活動全体を通じた体験的学習を継続する。</li> </ul>							

取り組むべき主な施策	食育・健康教育の推進	達成度の評価	C																						
推進方策	食育の推進、健康教育の充実																								
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>児童生徒の発達段階に応じ健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけさせるため、食に関する指導を推進するとともに、体育や特別活動等を通じて各種感染症の予防やストレスへの対処法など、健康に関する知識を高め、学習指導の充実を図る。</p>																									
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による食育指導の実施 小学校9校、中学校1校</li> <li>・健康診断の結果に基づく健康教育に関する授業を全ての学校で実施</li> <li>・健康・安全教育に関する指導を全ての学校で実施</li> <li>・アレルギーに係る研修会（エピペン実習）の実施 小学校10校、中学校4校（23人参加）</li> </ul>																									
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>全ての学校において、各校の養護教諭や栄養教諭を中心に各種保健指導やフッ化物洗口を実施する。引き続き、児童生徒の健康な身体の保持と増進のため今後も継続する。</p> <p>また、朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、小中学校共に昨年度を上回ったが、引き続き、保護者等の理解と協力が不可欠であることから、学校だより等を通じて地道な啓発活動を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="256 1240 1337 1435"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">朝食を毎日食べている児童生徒の割合</td> <td>小</td> <td>96.5%</td> <td>小 91.8%</td> <td>小 91.5%</td> <td>小 96.9%</td> <td>小学校100%</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>94.4%</td> <td>中 92.9%</td> <td>中 90.8%</td> <td>中 93.1%</td> <td>中学校100%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小	96.5%	小 91.8%	小 91.5%	小 96.9%	小学校100%	中	94.4%	中 92.9%	中 90.8%	中 93.1%	中学校100%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																			
		H27	H28	H29																					
朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小	96.5%	小 91.8%	小 91.5%	小 96.9%	小学校100%																			
	中	94.4%	中 92.9%	中 90.8%	中 93.1%	中学校100%																			
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を毎日食べている児童生徒の割合は高くなったものの、維持するためには、引き続き学校だより等を活用し、保護者向けへ「早寝早起き朝ごはん」などの健康に関する意識啓発を推進する。</li> <li>・児童生徒の望ましい食習慣の定着を図るため、栄養教諭未配置校に対する派遣事業を継続し、栄養教諭を中心とした特別活動や家庭科等の学習における食育指導の充実を図るとともに、学校と家庭が連携した食育の取組を推進する。</li> <li>・北海道教育委員会において「学校における食物アレルギー対応の進め方」が策定されたことから、学校や食育センターを中心にアレルギー有病児童生徒への対応の徹底を図る。</li> <li>・感染症の予防や対処法などの知識を高めるため、教職員向けに感染症予防研修を実施し、児童生徒への学習指導の充実を図る。</li> </ul>																									

取り組むべき主な施策	生徒指導・教育相談の充実	達成度の評価	B																																								
推進方策	生徒指導の充実、いじめへの取組の充実、不登校への取組の充実																																										
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で取り組む生徒指導体制を充実させる。</li> <li>・いじめの実態把握や相談・指導のための校内体制の充実と地域と連携した解決に向けた取組を充実させる。</li> <li>・不登校児童生徒へのきめ細やかな支援体制を充実させる。</li> </ul>																																											
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談の実施、生徒指導全体計画の見直しを全ての学校で実施</li> <li>・北海道教育委員会によるいじめアンケート調査を市内の全児童生徒を対象に2回実施。</li> <li>・いじめの早期発見・解決に向けた校内研修を全ての学校で開催し、校内体制の充実を図り、取組みを実施</li> <li>・全校体制による不登校対策の取組として、教育相談、家庭訪問等を全ての学校で実施</li> <li>・不登校対策訪問アドバイザーによる学校訪問と家庭訪問</li> <li>・不登校児童生徒サポートハウスの運営（対象者12名）</li> </ul>																																											
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に子どもの様子や動きを注意深く見守り、生徒指導・教育相談を行うことができた。</li> <li>・北海道教育委員会によるいじめアンケート調査のほかに学校独自のいじめ調査を小学校4校、中学校2校で実施した。</li> <li>・長期欠席児童生徒は、前年度に比べ小学校では2名減の5名、中学校は1名減の19名であった。</li> <li>・積極的ないじめの認知のためのアンケート質問項目の文言が変更したことから、嫌な思いも含めいじめと認知し、幅広い認知につながった。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="274 1332 1316 1626"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不登校児童生徒の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>2.9</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">いじめにあった割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>1.8</td> <td>0.1</td> <td>8.4</td> <td>10.2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>0.5</td> <td>0.0</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	不登校児童生徒の割合	小学校	%	0.3	0.0	0.4	0.3	0.0	中学校	%	2.9	2.3	2.3	2.2	0.0	いじめにあった割合	小学校	%	1.8	0.1	8.4	10.2	0.0	中学校	%	0.5	0.0	0.1	0.1	0.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																																				
			H27	H28	H29																																						
不登校児童生徒の割合	小学校	%	0.3	0.0	0.4	0.3	0.0																																				
	中学校	%	2.9	2.3	2.3	2.2	0.0																																				
いじめにあった割合	小学校	%	1.8	0.1	8.4	10.2	0.0																																				
	中学校	%	0.5	0.0	0.1	0.1	0.0																																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長を中心とした全校体制による生徒指導・教育相談を充実強化する。</li> <li>・伊達市いじめ防止基本方針に則り、市全体で、いじめの未然防止や早期発見・早期解決のための取組を効果的に行う。</li> <li>・いじめ防止の根幹となる人権教育を推進する。</li> <li>・不登校児童生徒への関わりを不登校児童生徒サポートハウスを有効活用しながら進める。</li> </ul>																																											

### ③信頼される学校づくりの推進

取り組むべき主な施策	開かれた学校づくりの推進	達成度の評価	A																																				
推 進 方 策	学校評価・情報提供の促進、学校支援ボランティアなど地域人材の活用																																						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域への教育活動への参画を促進するとともに、積極的な情報の発信等、開かれた学校づくりを図る。</li> <li>・学校支援ボランティアなど地域人材の活用を図る。</li> </ul>																																							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒・保護者・教職員・学校評議員のアンケートによる学校関係者評価を実施</li> <li>・学校評価を学校便りやホームページを使って公表</li> <li>・地域に向けた公開授業をすべての学校で実施</li> <li>・地域人材を活用した教育活動を全ての学校で実施</li> <li>・学校運営協議会を通して地域へ情報発信する開かれた学校づくりの推進</li> </ul>																																							
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的で信頼性の高い学校関係者による学校評価を全ての学校で導入している。</li> <li>・学校評価の分析・公表が定着し、その結果について、全ての学校で次年度の学校経営計画に反映させている。</li> <li>・全ての学校がコミュニティ・スクールを導入し、地域や保護者の意見を学校運営に反映させることができた。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="233 1249 1356 1545"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定 時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校を支援する地域組織を設置している学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>40.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>29.6</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学校運営協議会を設置している学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>90.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	計画策定 時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	学校を支援する地域組織を設置している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	29.6	60.0	60.0	100.0	学校運営協議会を設置している学校の割合	小学校	%	90.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0
成果指標	単 位	計画策定 時 (H21)	実績値				H30 目標値																																
			H27	H28	H29																																		
学校を支援する地域組織を設置している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0																																	
	中学校	%	29.6	60.0	60.0	100.0																																	
学校運営協議会を設置している学校の割合	小学校	%	90.0	100.0	100.0	100.0																																	
	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0																																	
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールを活用した、地域人材の活用を目指す。</li> <li>・学校運営協議会による、学校関係者評価等の充実、改善に向けた活動を行う。</li> </ul>																																							

取り組むべき主な施策	特色ある学校づくりの推進	達成度の評価	B				
推 進 方 策	地域に関する学習活動の推進						
≪事業目的・取組事項≫ ・本市の歴史的風土、伝統、文化など特色のある優れた歴史文化資源を活用した授業を展開する。							
≪平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況≫ ・地域の人材を活用した学習活動が行われ、地域の歴史、伝統や文化に触れる学習活動を実施							
≪平成29年度の評価≫ ・地域の特色ある教育資源を活用した授業により、地域への理解につながった。							
成果指標		単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値
				H27	H28	H29	
総合的な学習の時間において地域の 人材や自然環境など教育資源を 活かした授業	小学校	%	21.4	36.4	36.4	38.5	40.0
	中学校	%	14.7	25.3	27.5	29.7	30.0
≪今後の課題と対応方向≫ ・学校ごとに地域の特色ある教育資源を活用した授業を継続する。 ・地域の歴史的風土、伝統、文化などを学ぶ授業を継続する。							

取り組むべき主な施策	学校間の連携・接続の推進	達成度の評価	A																										
推進方策	幼稚園・保育所と小学校との連携に向けた取組、小学校と中学校との連携に向けた取組																												
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園から中学校までの子どもの発達段階にある子どもの小学校入学時、中学校入学時における学習のつまずき解消を目的に学校種間の連携・接続を図る。</li> </ul>																													
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、保育所との交流、幼児の小学校への体験入学、指導要録等の引継ぎ時に情報交換を星の丘小学校を除く全ての小学校で実施</li> <li>小学校との学習指導や生徒指導、授業研究会の交流を全ての中学校で実施</li> <li>進学先の高等学校との情報交換を全ての中学校で実施</li> </ul>																													
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、保育所と小学校、小学校と中学校との連携により、教職員相互の児童生徒理解が深まり、発達段階に応じた子どもへの対応につながった。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="237 920 1353 1128"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小中学校間での授業研究会・参観日を実施している学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>40.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標		単位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	小中学校間での授業研究会・参観日を実施している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0
成果指標		単位	計画策定時 (H21)					実績値				H30 目標値																	
				H27	H28	H29																							
小中学校間での授業研究会・参観日を実施している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0																						
	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0																						
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の道立学校を含めた学校種間の連携・接続を通して、教職員相互の児童生徒理解を深めるとともに、学習のつまずき等の解消を目的とした効果的な引継ぎを促進する。</li> </ul>																													



取り組むべき主な施策	教職員の資質向上	達成度の評価	B																				
推 進 方 策	管理職のリーダーシップによる学校組織の活性化、教職員の資質・能力の向上																						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営の責任者としてリーダーシップを発揮する校長や教頭の管理職としての資質・能力を高め、学校組織の活性化を図る。</li> <li>・信頼され、優れた資質・能力を有する教職員の育成を図る。</li> </ul>																							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例校長会・定例教頭会を毎月1回開催、校長会・教頭会合同研修会を1回開催</li> <li>・胆振教育局義務教育指導監や指導主事、指導室による学校訪問を実施</li> <li>・伊達市教育実践交流・研修会を実施</li> <li>・伊達小学校を研究指定校に指定し、全教職員を対象に公開研究会を開催</li> </ul>																							
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や公開研究会等に参加することで、他の学校の取り組みについて交流することにより、資質・能力の向上を図ることができた。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="225 1005 1366 1180"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21 現在値)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊達市教育実践交流・研修会に参加した教員の割合</td> <td>%</td> <td>27.6</td> <td>51.8</td> <td>63.3</td> <td>61.3</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>							成果指標	単 位	計画策定時 (H21 現在値)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	伊達市教育実践交流・研修会に参加した教員の割合	%	27.6	51.8	63.3	61.3	80.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21 現在値)	実績値			H30 目標値																	
			H27	H28	H29																		
伊達市教育実践交流・研修会に参加した教員の割合	%	27.6	51.8	63.3	61.3	80.0																	
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質・能力の育成・向上を図ることを目的として、研修会等や学校訪問による指導・助言を通し、本市における教育課題の共有化、教職員の資質向上を図る。</li> <li>・今後も、研究指定校を輪番制で指定し、研究成果を公開研究会で発表することで学校の教育力を高める。</li> </ul>																							

④安全・安心な教育環境づくりの推進

取り組むべき主な施策	耐震化、防災機能の充実	達成度の評価	B																				
推 進 方 策	耐震性の確保を図る整備、学校施設の安全性の確保を図る整備																						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>学校施設の耐震診断、耐震補強等を計画的に実施し、耐震性の確保と子どもたちや地域住民が安心して学校施設を利用できるよう施設の安全管理に努める。</p>																							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>学校施設の安全性を高めるために、老朽化に対し改修工事や修繕を進め、過ごしやすい環境を整える。</p> <p>伊達小学校プラネタリウム屋上防水改修工事、伊達西小学校高圧開閉器改修工事、東小学校体育館外壁改修工事、光陵中学校校舎外壁改修工事、伊達中学校地下タンク通気管改修工事、他各箇所修繕を実施</p> <p>※耐震化率 小学校72% 中学校100%</p>																							
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>老朽化している施設・設備の改修工事や修繕の実施により、児童生徒の安全と、安心して学べる環境を確保できた。</p> <table border="1" data-bbox="225 1240 1367 1433"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">耐震化率</td> <td>小学校40.0%</td> <td>小学校72.0%</td> <td>小学校72.0%</td> <td>小学校72.0%</td> <td>小学校75.0%</td> </tr> <tr> <td>中学校92.0%</td> <td>中学校92.0%</td> <td>中学校92.0%</td> <td>中学校100%</td> <td>中学校100%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	耐震化率	小学校40.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校75.0%	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校100%	中学校100%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																	
		H27	H28	H29																			
耐震化率	小学校40.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校75.0%																		
	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校100%	中学校100%																		
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊達小学校体育館については耐震強度不足であり、平成30年度から改築工事を行う。</li> <li>・非構造部材の耐震点検を進めるとともに、必要な修繕、改修を行う。</li> <li>・各学校とも施設、設備の老朽化が進んでいることから、学校統廃合の進捗状況を踏まえながら学校施設の耐震化や老朽化した施設の設備について、計画的な改修を行う。</li> </ul>																							

取り組むべき主な施策	学校の安全対策の充実	達成度の評価	A																	
推 進 方 策	安全管理の徹底、地域ぐるみの学校安全体制整備の推進																			
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>災害による事故や通学路における交通事故を含めた学校事故防止のため、学校、家庭、地域と連携を図り、警察や消防の協力のもと訓練や指導を行うことで学校安全の徹底を図る。</p> <p>また、学校安全対策の充実のため、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。</p>																				
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室、防災・防犯教室を全ての学校（星の丘小中学校を除く）で実施</li> <li>地域ボランティアとの連携・スクールガードリーダーによる通学路等の巡回指導の実施 88回実施（星の丘小を除く市内小学校）</li> <li>伊達市通学路安全推進会議の設置 伊達市通学路安全推進会議を開催し、通学路における危険箇所の合同点検を実施</li> <li>児童生徒の安全を図るため、黄金地区・稀府地区の通学路の一部に防犯灯を設置。</li> <li>長和小学校では「北海道実践的安全教育モデル構築事業」として有珠山噴火に備え、学校と保護者が連携し引き渡し等の訓練を実施。</li> </ul>																				
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>交通安全や防災・防犯については、日常的な指導や保護者向けの学校便り等による情報提供のほか、星の丘小中学校を除く全校で交通安全教室や防災・防犯教室が実施されたことにより、児童生徒の意識啓発が図られた。</p> <p>また、スクールガードリーダーの巡回指導により、不審者情報や危険箇所についての学校への迅速な情報提供、通学路パトロールボランティア等の活動といった地域ぐるみで児童生徒を見守る取組が広がりを見せている。</p> <p>更に、関係機関を構成員とする伊達市通学路安全推進会議を開催し、伊達市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路における危険箇所の合同点検を実施し、改善に向けた対策内容を決定した。</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールガードリーダーの派遣指導回数</td> <td>24回</td> <td>88回</td> <td>88回</td> <td>88回</td> <td>88回</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	スクールガードリーダーの派遣指導回数	24回	88回	88回	88回	88回
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値															
		H27	H28	H29																
スクールガードリーダーの派遣指導回数	24回	88回	88回	88回	88回															
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪から子どもを守るための対策として国が掲げた「緊急対策6項目」や大規模災害を教訓に策定された「学校安全の推進に関する計画」を参考にしながら、有珠山に近接する本市の地域特性を踏まえつつ、地域社会全体で学校安全に取り組む体制整備を引き続き推進する。</li> <li>学校、保護者、関係機関を構成員とする伊達市通学路安全推進会議を開催し、通学路交通安全プログラムに基づく通学路の交通安全に関する取組を継続する。</li> <li>また、児童生徒の安全を図るため、黄金地区・稀府地区の通学路の一部に防犯灯を設置する。</li> </ul>																				

取り組むべき主な施策	少子化に対応した学校適正配置の推進	達成度の評価	A																					
推 進 方 策	小学校、中学校の適正配置の推進																							
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の状況、保護者や地域の意見等を踏まえた学校の適正配置を行い、活力ある学習環境を創出する。</li> </ul>																								
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大滝小学校と大滝中学校は、通学時間の問題から他の学校への統廃合が難しいため、保護者と地域の住民を対象に説明会を開催し、義務教育学校を平成31年度に設置することを決定。また、新たな学校を円滑に設置するため、設立準備協議会を設置した。</li> <li>・黄金小学校は、児童数が減少しているため、学習環境をより良いものにするため、保護者と地域の住民を対象に説明会を開催し、東小学校への統合を平成32年度に決定。円滑に統合が出来るよう統合準備協議会を設置した。</li> </ul>																								
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校設立等準備協議会の委員については、学校関係者の他、幅広い意見を聴くため大滝区からの一般公募とし、会議を3回実施した。</li> <li>・黄金小学校・東小学校統合準備協議会の委員については、黄金地区の保護者や地域の代表者の他、統合先である東小学校区域の代表者及び黄金地区在住の未就学児童の保護者の代表などとし、円滑に統合が出来るよう会議を2回実施した。また、両校による交流事業も円滑に行うことができた。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="253 1167 1337 1408"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校数</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>中学校数</td> <td>7校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> <td>4校</td> <td>4校</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	小学校数	10校	10校	10校	10校	10校	中学校数	7校	5校	5校	4校	4校
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																		
		H27	H28	H29																				
小学校数	10校	10校	10校	10校	10校																			
中学校数	7校	5校	5校	4校	4校																			
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大滝小学校、大滝中学校については、両校で連携し、義務教育学校設立にむけて準備を進める。</li> <li>・黄金小学校のスクールバスについては、児童の安全確保を第一に運行経路等の検討を進める。</li> <li>・黄金小学校と東小学校の交流事業については、効果的な取り組みとなるよう、工夫しながら実施する。</li> </ul>																								